

地域活性化・観光振興の具体的な取り組み

高速道路を活かしたまちづくり・イベント等の事例

- ア** 「東北どまんかサミット」による3県・7市町での地域間交流の拡大
大崎市、湯沢市、由利本庄市、真室川町、最上町、新庄市、金山町
- イ** 「新庄まつりの山車行事」ユネスコ無形文化遺産登録による交流拡大
- ウ** 新庄まつりを核とした「MOGAMIぐるっとデジタルスタンプラリー」による周遊促進
- エ** 村山IC周辺の好アクセスを活かした道の駅整備
- オ** 山形連携中枢都市圏及び民間事業者との連携による広域観光の推進
(DMOさくらんぼ山形) 山形市、寒河江市、上市市、村山市、天童市、東根市、尾花沢市、山辺町、中山町、河北町、西川町、朝日町、大江町、大石田町
- カ** ワイン特区認定による交流人口の拡大 上市市、南陽市
山形ワインバル2023(上市市)、ワインフェスティバルin南陽(南陽市)
- キ** 魅力ある「景色・文化・食」をテーマとしたサイクリングイベント
「みちのおとぎ街道『グル麺ライド』」の開催 南陽市、高島町、宮城県白石市
- ク** 「山形ラーメンマップ」スタンプラリー企画の実施による高速道路の利用・周遊の促進
NEXCO東日本、やまがた観光キャンペーン推進協議会ほか
- ケ** 広域連携企画「高速道路を使ってGO! やまがた秋のドライブスタンプラリー」の実施
やまがた広域観光協議会、最上地域観光協議会、山形おきたま観光協議会
- コ** 「ふくしま広域スタンプラリー」による道の駅ふくしまを起点とする周辺地域への周遊促進・
アプリ「周遊手形『縁』道の駅ふくしま」の開発 福島市、米沢市ほか福島県内9市町村



着実に進む産業振興

ICへのアクセス性を活かした工業団地造成と企業誘致

【山形県道路中期計画2028】

ICへ10分でアクセスできる工業団地数 35箇所(2018年度末) ⇒ 65箇所(2028年度末)

主な進出・拡張企業	操業年度(予定)
1 金山町貸工場	山形アキレスエアロン、大商金山牧場 H28
2 新庄中核工業団地	協和木材/マルカ林業/サンテック H28/H30/R2
3 新庄横根山工業団地	山形航空電子第二工場B棟増設(R5.6月完成)
4 福原工業団地	山陽精機、トキワプラス R5
5 湯野沢南原工業集積地に工業団地造成を検討中(村山市)	
6 山口西工業団地(天童市)	メイコー R5
7 (仮称)天童南スマートIC近隣地に産業団地造成を計画(天童市)(7)関連	
8 山形北インター産業団地(山形市)	整備中
9 山形中央インター産業団地	シヤチハタ R1
10 蔵王みはらしの丘産業エリア	KDDIエポルバ、コストコ/東和薬品 H26/H29
11 かみのやま温泉インター産業団地 *残1区画のため第2期造成に向けて準備中	ジャパンロジスティクス/ 内山電機工業/ヒメジ理化学工業 R3/R4/R5
12 南陽西工業団地/梨郷工業団地 *完売のため新工業団地造成を検討中	山形食品アセパット工場/ フコク物流第4倉庫 R4
13 西町西工業団地(拡張)(高島町) (8)高島スマートIC(仮称)関連	R2分譲開始
14 米沢オフィス・アルカディア	グリーンエイト/イズミ物流 R4/R5
15 米沢八幡原中核工業団地 *完売のため新産業団地整備を検討中	金子レンタル、斎藤容器 R4
16 福島おおぞらインター工業団地 *分譲完了のため第2期造成を計画	ロジコム/トモト電子工業/ 高圧ガス工業/菊池製作所 R2~R5



高速道路の効果を高める取り組み

【山形県道路中期計画2028】

ICへ30分でアクセスできる県内人口の割合 65%(2018年度末) ⇒ 97%(2028年度末)



地域活性化IC・スマートICの整備	供用年度(予定)
1 大石田村山IC	H30.4.15
2 村山名取IC/村山本飯田IC	R4.10.29/R3.12.11
3 東根北IC	H31.3.23/R4.10.29
4 米沢中央IC	H29.11.4
5 福島大笹生IC	H28.9.11
6 山形PAスマートIC	R6.3.24
7 天童南スマートIC(仮称)	事業中
8 高島スマートIC(仮称)	事業中

※ 上記のほか南陽市でスマートIC整備に向け、関係機関との勉強会を実施中

ICアクセス道路の整備	供用年度(予定)
A 市道駅西中央線(村山市)	R2.12.19
B (主)寒河江村山線 河島工区	R4.10.29
C (主)村山大石田線 名取工区	R4.10.29
D (主)山形天童線 成生工区	H29着手
E 国道287号 羽入工区	R4着手
F 国道287号 米沢長井道路	R10まで
G 国道112号 山形中山道路	事業中
H 国道112号 霞城改良	R2.3.22
I 国道112号 山形南道路	事業化に向け調査中

観光振興に寄与する「道の駅」等の整備促進・機能強化

【山形県道路中期計画2028】

ICへ30分でアクセスできる主要な観光地数 59箇所(2018年度末) ⇒ 84箇所(2028年度末)

山形らしい魅力のある「道の駅」数 21箇所(2018年度末) ⇒ 30箇所(2028年度末)

道の駅・構想 ※防災拠点自動車駐車場指定	位置・機能等	供用年度(予定)
米沢市 道の駅「米沢」※ 重点道の駅・[4]米沢中央IC近郊 *R5.8.17来場者900万人突破	コンシェルジュ常駐の総合観光案内窓口、外国人観光案内所(カテゴリー2)、旅行商品(ツアー等)の提供(第2種旅行業登録)、電動アシスト付きレンタサイクル、高速バス等のパーク&ライド機能	H30.4.20
山形市 道の駅「やまがた蔵王」 *R6.2.27来場者50万人突破	防災拠点機能(防災倉庫、非常用電源装置、貯水槽、マンホールトイレ等)、地域連携機能(地域コンテンツ発信ホール、伝統工芸品展示、芋煮広場等)、パーク&ライド機能/やまがた蔵王ヒルクライムルートなど地域資源を活かしたサイクルツーリズムを推進	R5.12.3
山形市 道の駅構想「(仮称)山形中央IC」	山形中央IC周辺に計画	-
村山市 道の駅「むらやま」※	移転に向けた検討中(A★関連)	-
尾花沢市 道の駅「尾花沢」※ 花笠の郷ねまる	防災拠点化(災害時用蓄電池・非常用発電機・マンホールトイレの整備)	R2
山形市 山形PAの利活用構想	[6]山形PAに隣接の西公園との連携を検討中	-
新庄市 道の駅「しんじょう(仮称)」(事業中)	登録有形文化財「新庄市エコロジーガーデン」周辺に整備	R7
新庄市ほか 新庄IC付近「道の駅」(構想中)	新庄IC周辺に検討中	-
福島市 道の駅「ふくしま」 重点道の駅・[5]福島大笹生IC隣接 *R6.1.3来場者300万人突破	飲食・物販の提供、観光情報の発信等による地域産業の振興、レンタサイクル(E-バイク)による地域資源を活かしたサイクルツーリズムを展開	R4.4.27



凡例

- () : 高速道路強化
- : ICアクセス道路事業
- ★ : 観光・まちづくり
- 🏠 : 工業団地等
- 🏠 : 供用中の「道の駅」
- 🏠 : 構想中・整備中の「道の駅」
- : 追加IC・スマートIC

開通区間(有料) ■
 開通区間(無料) ■
 事業中区間(無料) ■
 4車線化優先整備区間 ■
 調査中区間 ○
 構想路線 ○

()書き IC・JCT・道の駅は仮称

東北中央自動車道の活用による地域活性化プロジェクトマップ

東北中央自動車道の活用促進による地域活性化協議会〔令和6年3月〕



高速道路が繋がったことによる効果

- 【東根～尾花沢】令和4年10月開通**
- 最上地域の観光客【最上総合支庁】
R4⇒R5で**14%増加**
 - 新庄まつりの観光客【新庄市】
R4⇒R5で増加し、**県外からの来訪者も多くみられた**
 - 舟形若鮎まつり来場者【舟形町】
R元⇒R5で**2,000人増加し、22,000人が来訪**
 - 道の駅むらやま来場者【村山市】
庄内や福島等の**遠方からの来場者が増加**
- 【福島～米沢北】平成29年11月開通**
- 米沢上杉まつり来訪者【米沢市】
H29⇒R1で**62,000人増加**
 - 上杉雪灯籠まつり来訪者【米沢市】
H29⇒H31で**49,000人増加**



取組み事例 「道の駅米沢総合観光案内所情報発信検討会」(山形県置賜地域)

- 目的:置賜地域を中心とする山形県内の観光情報をより効果的に発信するため、**四季やテーマに応じて発信する観光情報や置賜管内及び山形県内を周遊する旅行商品の内容について企画提案する**
- 組織:山形県置賜管内の各市町観光主管課、各市町観光(コンベンション)協会、山形県観光主管課

①まちナビカード

道の駅内の無料休憩所(24h)特設コーナーに置賜3市5町の観光施設や店舗100店の情報を掲載したカード(はがき大)を展示し、PR・誘客ツールとして活用するもの。カードを各店舗に持参し提示することで、各店舗が設定した割引やサービスを受けることができる。カードは基本的に回収し、効果の検証や改善に活用する。

②イベントナビカード

「まちナビカード」の仕組みを活用し、置賜地域の各市町のイベント情報をカード化してイベントへの来訪や滞在・周遊を促すもの。

令和4年度は、手に取られたカードのうち26%が店舗で利用され、利用者数は延べ1万人以上となった。



③道の駅での各市町の重点PR期間を設定

各市町と調整のうえ設定した期間に、各市町と道の駅米沢総合観光案内所で重点的にPRするほか、期間中に道の駅管理者、各市町・観光協会担当者が直接来館者にPRする「市町デー」を設定するもの。

④旅行商品化の強化

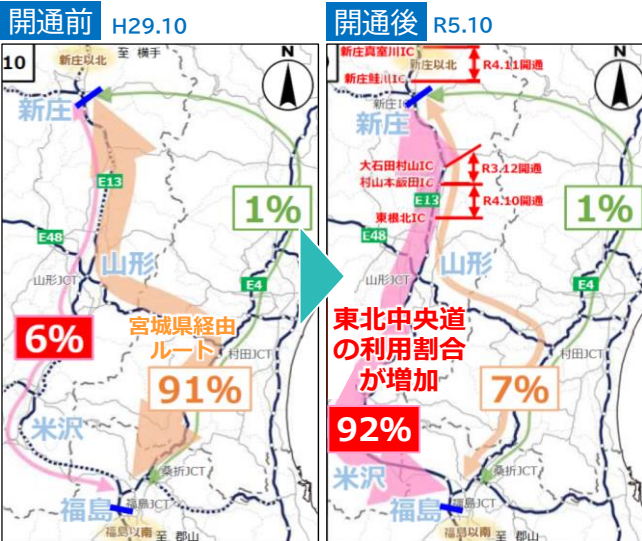
道の駅米沢の来館者が、当日その場で購入できる旅行商品の充実を図るため、簡単な体験観光素材を発掘するもの。



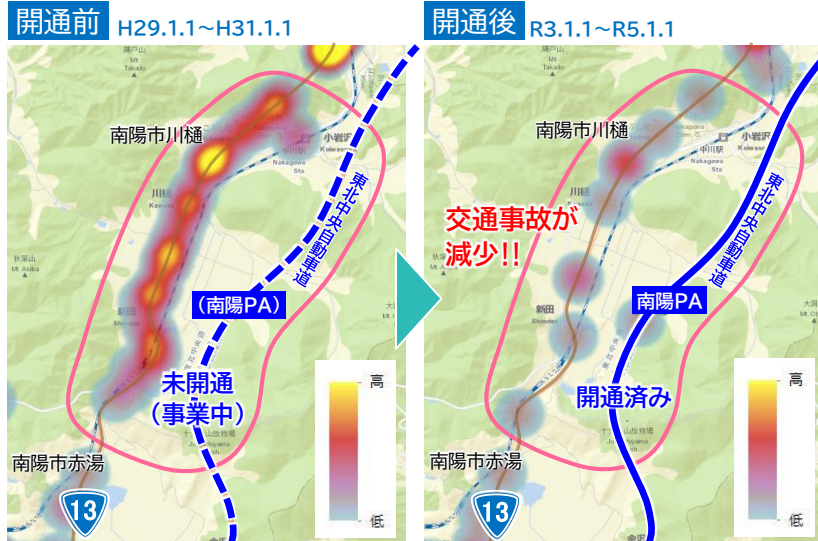
安全・安心な道路交通環境の創出

福島大笹生IC～米沢北IC間(H29.11月)、南陽高畠IC～山形上山IC間(H31.4月)及び東根北IC～大石田村山IC間(R3.12月、R4.10月)の開通により、福島JCT～新庄間の広域ルートが、「宮城県経由ルート」から「東北中央自動車道利用ルート」へ転換し、東北中央自動車道+国道13号の断面交通量が増加。一方で、国道13号でこれまで交通事故が多発していた区間(南陽市赤湯～川樋地内)では、交通事故発生件数が減少し、安全・安心な道路交通環境の創出にも貢献。

▼広域交通の転換状況の変化 (周辺エリアの高速道路等における交通量の変化)



▼開通前後の交通事故発生状況の変化



取組み事例 「道の駅ふくしま」を基点とする周辺地域への周遊促進の取組み(福島市)

周遊スポット魅力アップ支援事業

- 目的:道の駅ふくしま周遊アプリ「周遊手形“縁”」への登録を条件とし、**観光客が福島市を訪れたいくなるような新たな魅力づくりのための施設改修や来訪者の高い満足度につながる、おもてなし向上の取組みを行う事業者を支援する**

道の駅ふくしま公式アプリ「周遊手形“縁”」

■アプリの概要

道の駅ふくしまを来訪する観光客や住民に向けて、店舗や観光スポット・イベント開催、スタンプラリーやクーポンなどの情報を提供するスマートフォン・タブレットアプリ。道の駅への集客及び周遊による消費拡大といった地域全体の活性化を図るもの。

■機能

- ・コンテンツ(体験・宿泊・飲食・買い物)の案内、予約、クーポン提供
- ・イベントカレンダー
- ・フルーツライン果実カレンダー
- ・周遊モデルコース案内
- ・スタンプラリー
- ・パンフレット閲覧
- ・アンケート
- ・写真投稿
- ・子どもあそびば
- ・地図表示

周辺地域への周遊促進の取組み例

- ・観光農園等をコースに入れた果物狩りツアー
- ・ダムと旬の食材を満喫するカヤック&サイクリングツアー
- ・近隣市町村の道の駅と連携したデジタルスタンプラリー

周遊スポット魅力アップ支援

観光スポットの魅力アップに取り組む事業者を支援します

ハード型

宿泊施設及び公共的施設等改修・整備

◆補助率 2/3以内
◆上限額 500万円 (Y事業 100万円)

グループ型

改修・整備

◆補助率 2/3以内
◆上限額 200万円 (Y事業 100万円)

個別事業者施設

改修・整備

◆補助率 1/2以内
◆上限額 200万円 (Y事業 100万円)

◆対象事業者募集チラシ

ハード型(施設改修・整備)

<対象経費>
改修工事費、設計費、付帯工事費等(看板、電灯等)、除去工事費等、案内誘導看板

<具体例>
・テラス席の新設
・電子化した案内ビジョンの整備
・客室露天風呂内備品の改修
・バストイレ等の新設
・ユニバーサルデザイン化の整備
・古民家再生に係る小規模修繕
・果樹園柵、養蚕家屋の改修
・花ゲート・モニタメントの設置
・フルーツラインの統一電灯整備
・花スポットの統一看板設置
・トイレの改修
・駐車場の増設

ソフト型

魅力・満足度アップへの取り組み

◆補助率 2/3以内
◆上限額 200万円 (Y事業 100万円)

体験プログラム開発

◆補助率 2/3以内
◆上限額 200万円 (Y事業 100万円)

◆対象事業者募集チラシ

クーポンはアプリ版とカード版の併用で効果的にPR!

種類	ターゲット	特徴
アプリ版	・日常使用する福島市民 ・宿泊を伴う観光客	・アプリ上で店舗などを宣伝できる ・スタンプラリー機能で集客できる ・マーケティングデータを経営に活用できる
カード版	・道の駅来訪者 ・市外からの観光客	・年間約130万人が利用する場でPRできる ・名刺サイズで持ち運びしやすい ・日本語・英語表記でインバウンドに対応

出典:国土交通省資料に情報を追加して掲載

出典:山形県警察本部「交通事故発生状況マップ.2023」に道路情報等を追記して掲載